

# 命をつむぐこしみず



北海道の東側、

オホーツク海に面した小清水町は、

小清水原生花園やとうふつこ瀧沸湖に

代表されるように

多様な豊かな生態系を育むまち。

先哲からの「土づくり」の情熱を

いまに受け継ぐ

農業のまちでもありません。

近年は町民たちの

自発的なまちおこしに

端を発した企業誘致と

閉校施設の利活用で成功し、

新たな特産品「ほがじゃ」も誕生。

全国から注目を集めています。

子どもたちのために、

まちの未来を開きたい――。

次代へと《命をつむぐこしみず》です。

発刊にあたって



林直樹 小清水町長 NAOKI HAYASHI <http://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/>

小清水町は、北海道の東北部、オホーツク圏の東部を占める斜里郡に位置し、農業を主産業とした町で、その沿革は、明治12年に先人がこの地に一粒の自治の種を蒔いたことから始まります。町名の由来は、町内を流れる「ボンヤムベツ川」がアイヌ語で「小さい清水の川」という意味を持つことなどから、「小清水」と決定しました。豊かな自然と優れた観光資源を有する本町は、大地の恵みを活かした豊かなまちを築き、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの実現へ向け取り組みを進めています。「人口減少問題」「地方創生」など地方自治を取り巻く環境は、非常に厳しくかつ目まぐるしく変化していますが、この時代の潮流をしっかりと見据え、「町民の目線」に立った行政の推進を基本とした政策展開を図っております。

この町勢要覧は、「命をつむぐこしみず」をテーマに平成27年度に編集したものです。本要覧とともにホームページ上のリアルタイムの情報も併せてご覧いただき、ぜひともご来町いただけることを町民一同心よりお待ちしております。

## もくじ CONTENTS

第一章「ふるさとの明日」をつむぐ  
小清水ほがじゃものがたり P4

第二章「大自然の多様性」をつむぐ  
小清水町動植物大図鑑 P12

「多様性」という名の宝物  
小清水原生花園／瀧沸湖／オホーツクの村

第三章「土の力」「農の夢」をつむぐ  
循環型農業先進地、小清水 P18

小清水町農業協同組合 小清水澱粉工場  
株式会社こしみずエコフィードサービス  
TMRセンター

●小清水の農産物「ごぼう／ブロッコリー」

●小清水の人材育成 駿農人養成セミナー

●小清水の女性たち

ゆう水サークル／ラブキッチン

第四章「現況」マイライフタウン小清水 P23

●生活を創造するまち 医療・福祉

●人が育ち・創るまち 教育・スポーツ・文化

●元気で活力あるまち 産業・観光

●行政・小清水町議会・まちの概要